

河川

河川事業 (10水系:新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系)

ダム事業 (3箇所:大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、足羽川ダム)

地すべり対策事業 (1箇所:亀の瀬地区)

砂防事業 (4箇所:木津川水系、六甲山系、九頭竜川水系、紀伊山地)

海岸事業 (1箇所:東播海岸)

復興・防災対策

近年頻発する災害への対応

近年、近畿地方では台風や集中豪雨などにより各地で甚大な浸水被害が発生しています。このような浸水被害を再び受けないように、河道掘削や築堤、砂防堰堤などの緊急かつ集中的な治水対策を行っています。

事業名	主な内容
熊野川激甚災害対策特別緊急事業	河道掘削、築堤、橋梁補強など
紀伊山地特定緊急砂防事業	河道閉塞対策、大規模斜面崩壊対策、土石流対策
桂川緊急治水対策	河道掘削など
由良川緊急治水対策	河道掘削、築堤、宅地嵩上げなど
由良川床上浸水対策特別緊急事業	ポンプ増強など

予防的な治水対策

近年激化する洪水や地震・津波などの大規模災害に対して、未然に被害を防止、軽減するために、予防的な治水対策を行っています。また、老朽化する河川管理施設の維持管理や河川環境の保全に努めています。

整備効果事例 由良川の輪中堤整備と地域の再生

京都府の圃場整備を国の輪中堤整備と併せて一体的に整備。耕作放棄地の解消。

耕作放棄地 8.7ha → 整備後 26.0ha 耕作地
 輪中堤(国) 17.3ha

▲圃場整備における茶の作付け
 高齢で耕作ができず、後継者もないので農地が荒れていくのを見ていたが、営農組合で耕作してもらえると助かっています。(千原地区:70代女性)

整備効果事例 紀伊半島大水害から3年 ~復興への第一歩~

野迫川村北股地区において砂防堰堤の整備により、避難指示が解除。60余名の住民が地区内に帰還

日付	避難者数 (人)
平成24年9月5日	91
平成24年2月24日	83
平成25年2月1日	65
平成26年7月1日 (避難指示解除)	0

●野迫川村の避難者数の推移
 H26年3月 国省施工 砂防堰堤完成
 H26年6月 奈良県施工 砂防堰堤完成

最大限の洪水調節を行った淀川水系のダム群 (平成25年台風18号)

- 平成25年台風18号では、淀川水系ダム群の貯水容量をフル活用した洪水調節、瀬田川洗堰の41年ぶりの全開操作など、最大限の洪水調節により、下流の水位低減に効果を発揮しました。

整備効果事例 淀川の高規格堤防による新たなまちの創出

- 高規格堤防整備と民間住宅開発事業及び土地区画整理事業とを一体整備。
- 戸建住宅や高層住宅の建設により、約3,000人が移住し、枚方市内で最多人口数の都市に成長

日吉ダム、天ヶ瀬ダム、揖保川、加古川、淀川、大和川、紀の川、熊野川、九頭竜川、由良川、北川、新宮川

伊賀賀西町の人口・世帯数の推移

年度	伊賀賀西町 人口推移 (千)	伊賀賀西町 世帯数推移 (千)	枚方市 人口推移 (千)
H5	2.7	0.79	39.5
H15	5.5	1.93	40.4
H20	5.9	2.11	40.6
H25	6.0	2.21	40.9

自然が多いのが気に入りました。万が一水が溢れても決壊することがないため、安心して暮らせます!! (伊賀賀西地区に移り住んだ住民の声)